

R

E

A

S

O

N



A N S W E R



「オレを見替へオレ」んぢ、」

「オレオレマスターは





みんながうーん
うーん

うーんだ...

おのれんめいって
相性悪かったかな

おいなんだ
あの馬鹿力はっ

専門強化
10/10



おのの木のよ

祈り



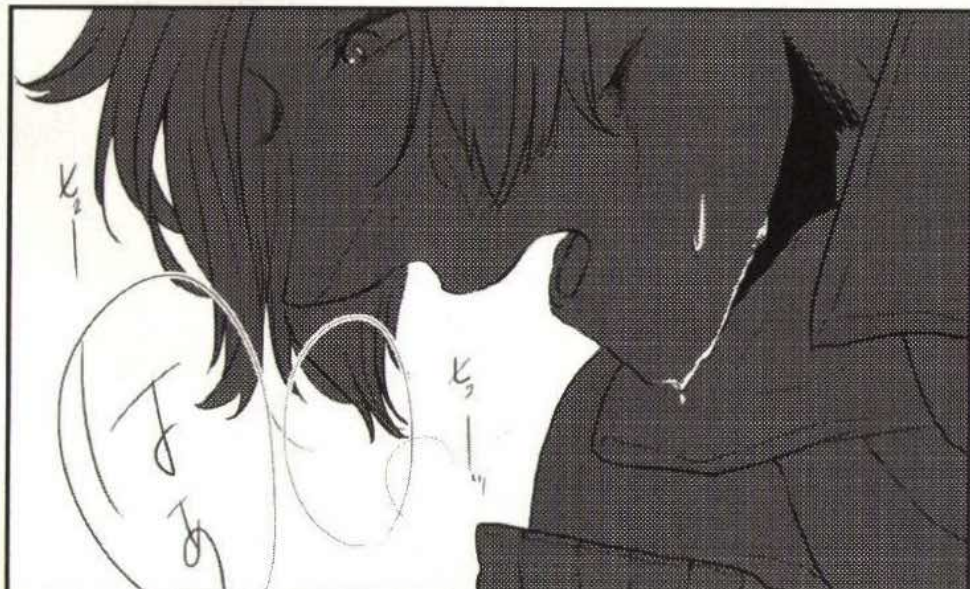
祈り
の
ま



いや、助かっ
たよ若いの

一発だな

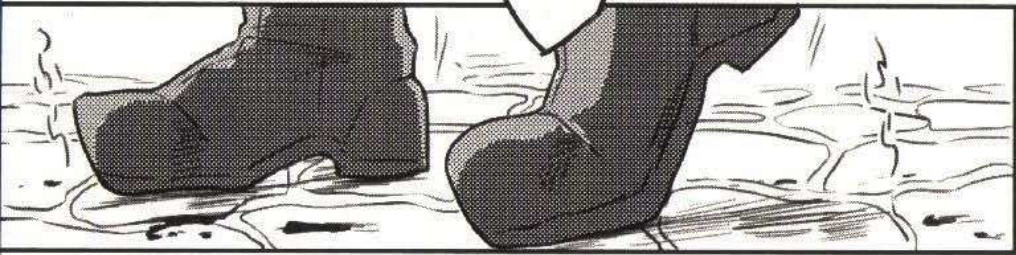
よしっ！



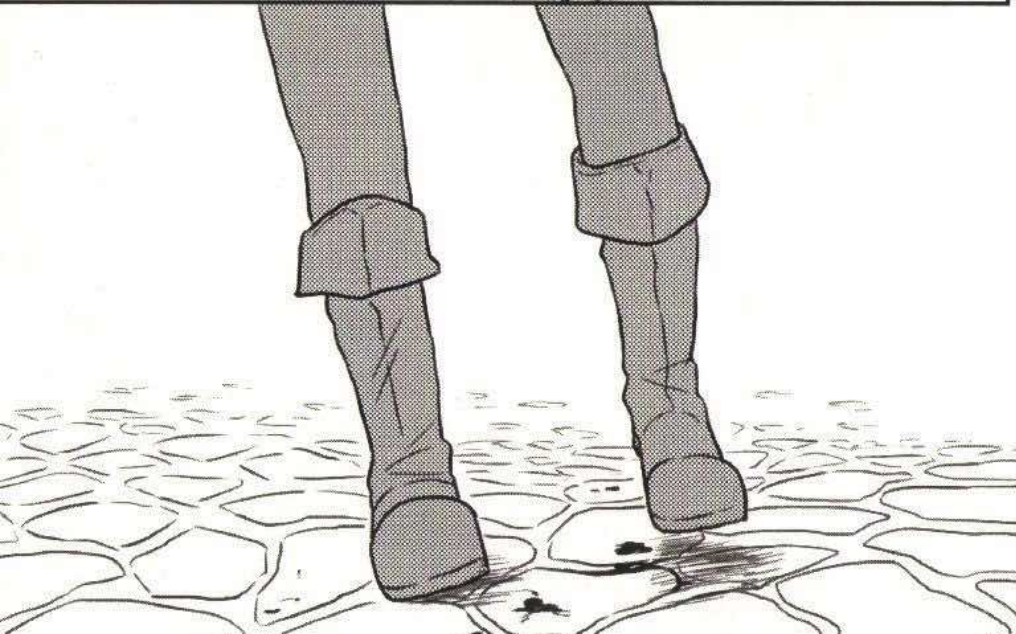


そーんな顔
すんなマスター

倒したんだから
今は良しとしようや



……
うん





あ



あ



ロム...

え？

こいつあ
ヤバいな

マスター

すぐ帰還の
レイシフトの準備を

坊主、まだ
回復使える？

問題ない、隣で
歩きながらでも
してやる

それより
そいつはもしや
容態はかなり不安定か？

分かってんなら
坊主もほら手伝って

マスター
行けます？

う、うん！





魔力がどう検査しても足りてない

すつからかんだつたよ



ここからは僕の飯説だけれど、



カルデアからいつも供給されてる筈…



彼、自分では言わないけれど

宝具結構強力でしょ？

召還の仕方がここは普通とは、違うからなのか、

もしかしたら、魔力放出のネジが吹っ飛んでる可能性がある

よく彼の宝具使うでしょ？ 撃ちやすいからね

その消費魔力にカルデアの供給が追いついていなかっただろうから今になって限界がきた



早く戻ってきて
くれて良かったよ

もう少しで
本当に彼は
消滅する
ところだった



今は彼、落ち着いて
いるみたいで良かった

いや、僕にはこれしか
できなくてごめんね

ありがとう
ロマン



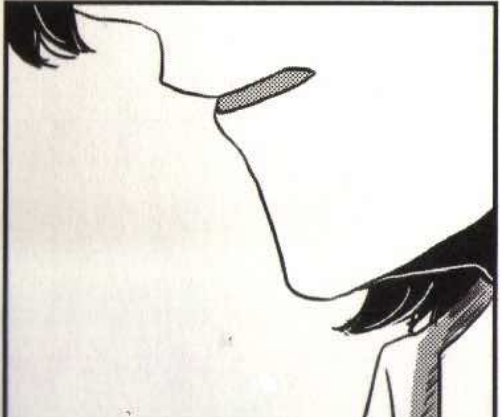
…そっか



…



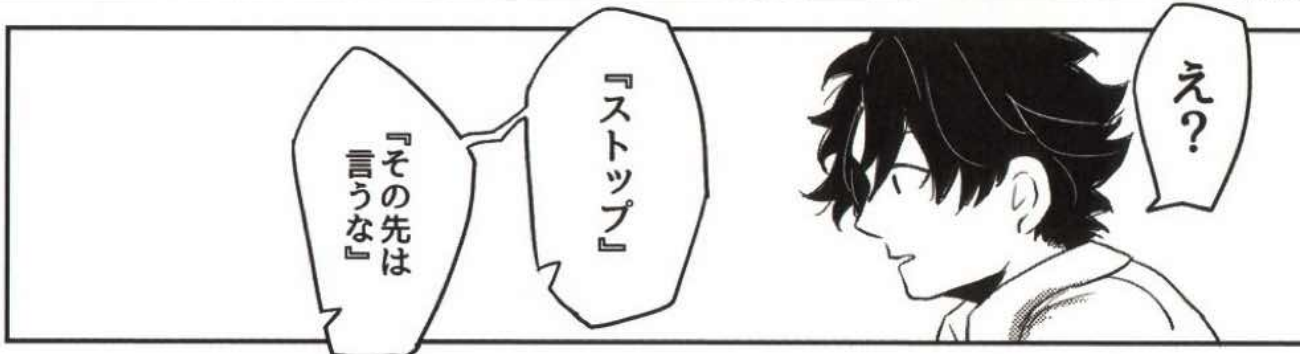
僕は戻るけど、
彼の魔力はまだ足りて
いないから、無理は
させちゃダメだよ





あ~~~~~
マスターちよっと

オレの話
聞いてました？



え？

『ストップ』

『その先は
言うな』



オレは、

謝るなど
言っただんです



采配を間違えた

さっきの戦闘で
そう思ったでしょう

確かに全員
やられかけて、けど
オレの宝具を放った

ミスをアンタ自身
補えたからこうやって
帰って来れたんでしょう？

なら、謝る必要はない
オレが撃つて良かったんだ

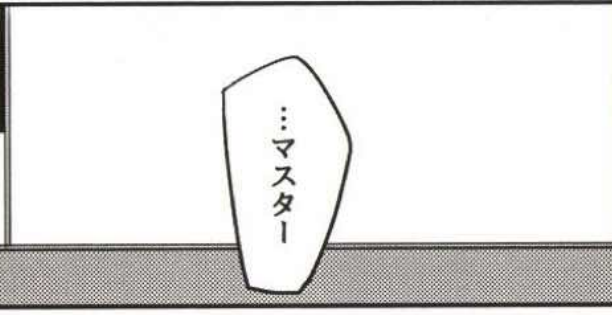
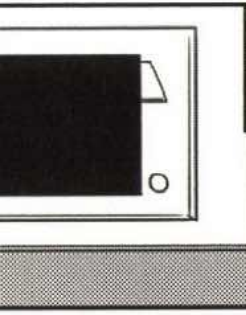
違う



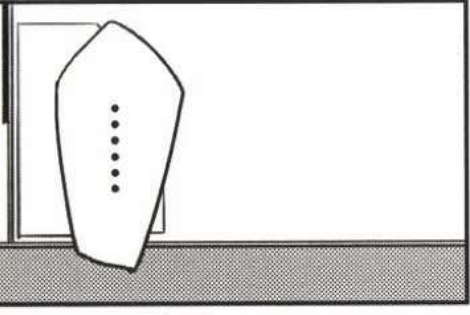
ロビンが消えちやう
かと思つてそれで…



俺は、



…マスター



…



本気で
言ってますか



それは

アンタは
ここに生きる

たった一人の
マスターだ

たとえ、
オレが消えても

たとえ、
オレを見捨てる
しかななくても

アンタはアンタを
支えてくれる
人たちが待つ

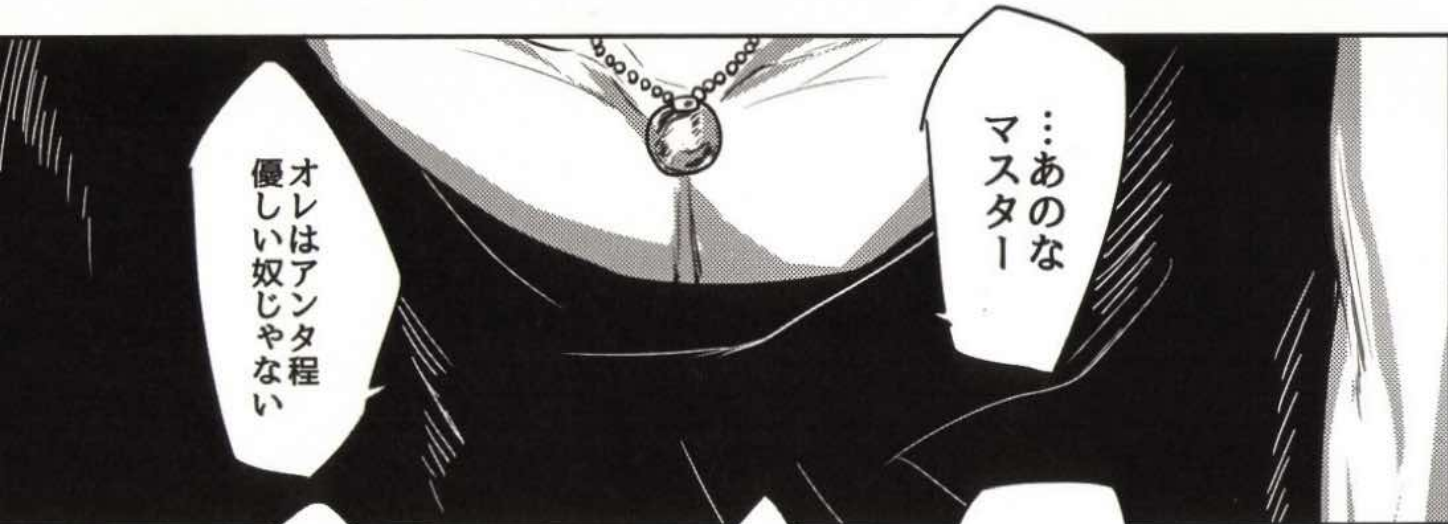
カルデアへ
帰ってくるんです

…それは、

俺が

それは俺の
在り方が

ロビンに
似ているから？



…あのな
マスター

オレはアンタ程
優しい奴じゃない

まず守っている
ものスケールが
違いすぎる

オレは村を
守れりやあ
それで良かったんだ

あと

アンタは、
一人であっても
独りではないでしょう



たった独りで
守る戦いの結末を

オレはもう
知っている

だからオレは、アンタを
此処に必ず戻らせると

そう決めたんだ

が、

まあ知ってる
でしょマスターも

此処の
大所帯つぶり

賑やかなのなんのつて
むしろ騒がしい奴いるし

余つ程の事が無い限り
マスターが一人になるなんて
今は有り得んでしよう



だから



安心してオレは、
消える覚悟が出来る

どうして



どうして、

ロビンはそのままで
してくれるの



…何ででしょうね

引き止めてすみません
オレまだ本調子じゃ
ないんで休みますけど…

えっあつ
いや、ごめん！

オレはいいんで、
マスターはもう
自室で休んでくださいえ

……

マスター？

…俺、さっき言ったよね？
ロビンが魔力枯渇で心配だって



魔力供給...



はははははは
はははははは

ですよね!

☆イベントが
解放されました

2555



何言ってるんすか

顔に書いて
ありましたよ

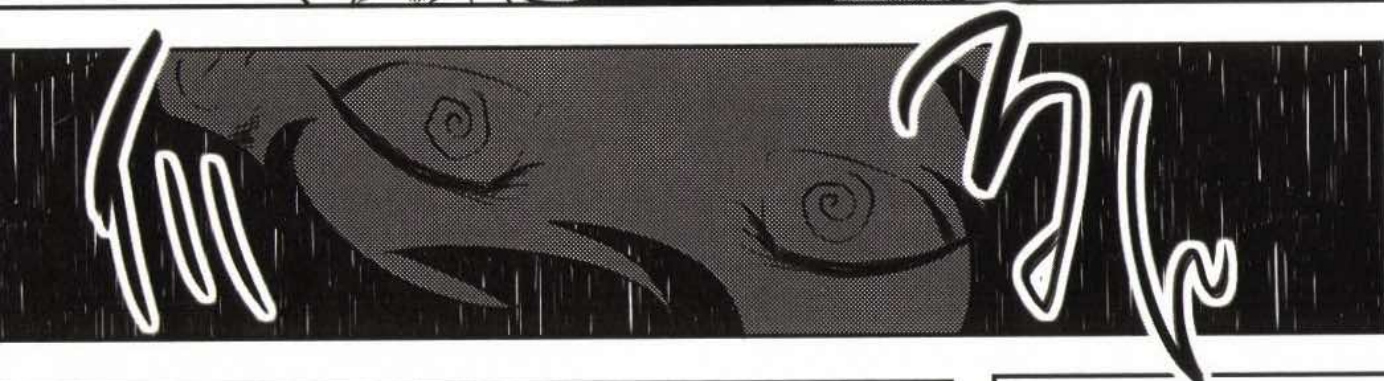


わ、分かったたの?



それに、空の
タンクに

燃料入れるのは
普通でしょう?





あー、じゃあ
マスターの準備しないと

え？

アホ
ミ



ちよつまつ
準備って

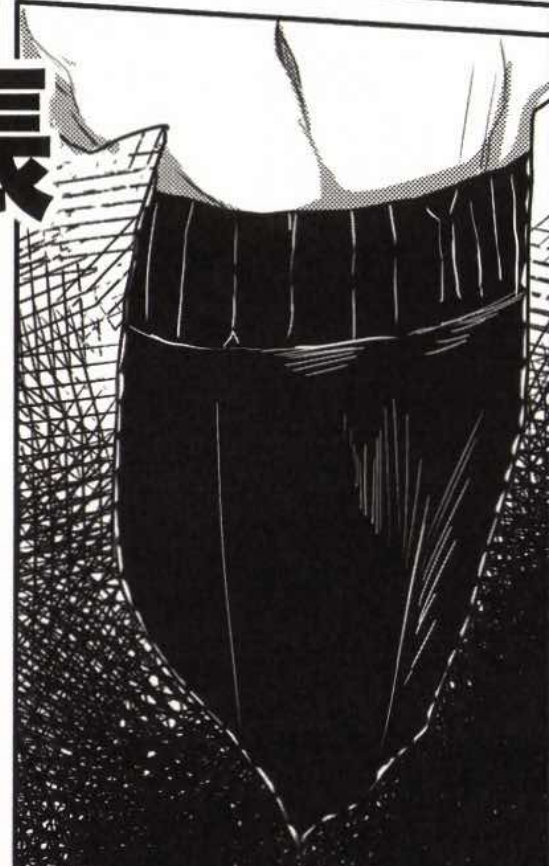


ご開帳



ほら、マスター
男とか経験ないでしょ？

まずは勃たせない
と思ひまして…

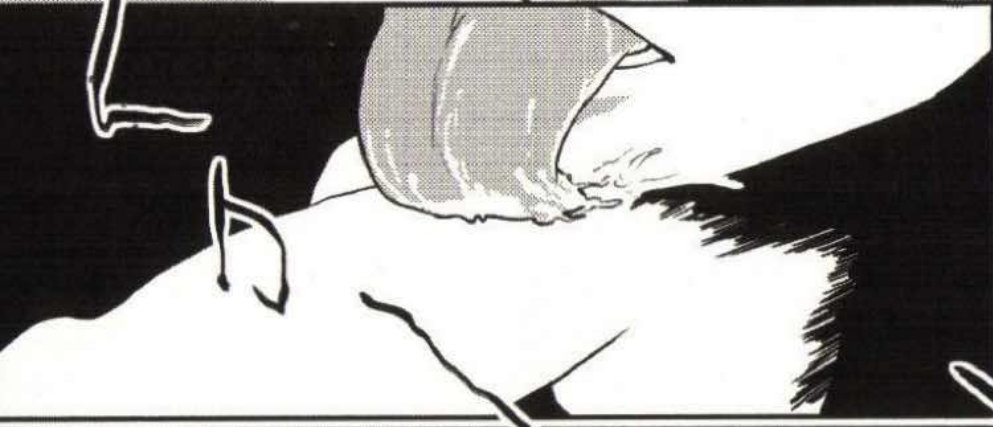




とりあえず
なんですけど

しやぢいん
こじあか

ツッ



ツッ



ヤバい…
どうしよ

魔力供給してる…
あつつい…

というかロビン
う、上手くない…?



あ、なんか
結構ふわふわ…



意識流れそう…
頭触っていいかな



あーあ
あーあ
あーあ

へ！あ！
ごめん！！

あ、えっと、その
大丈夫ですから

ほ、ほんと？

その、首にびっくり
しただけなんで

いつも首隠してる
から弱いのかな…

本日二度目

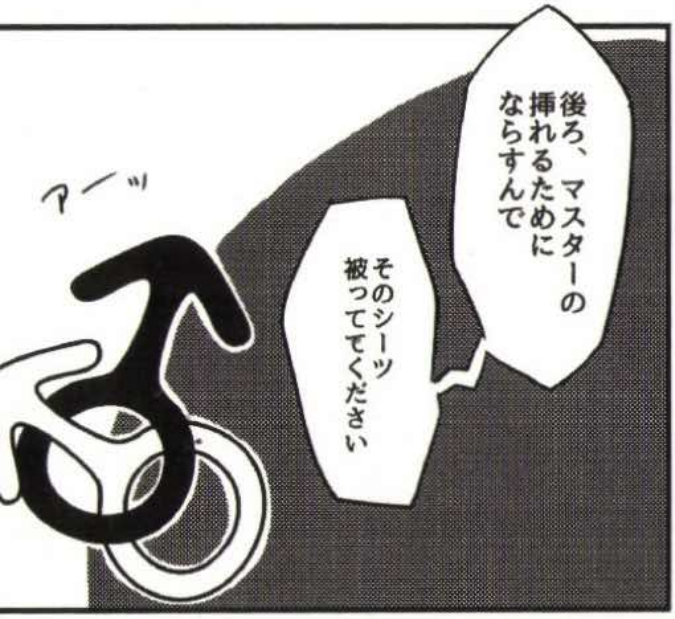


…ならしたいんで
目え戻ってもらうと
嬉しいんですが…

あー…
あと、マスター



え？今
なんて言っ



アーン

そのシート
被ってください

後ろ、マスターの
挿れるために
ならすんで



セックス

魔

オレのオレ
口のビンの
挿れてナニ
するんでナニ



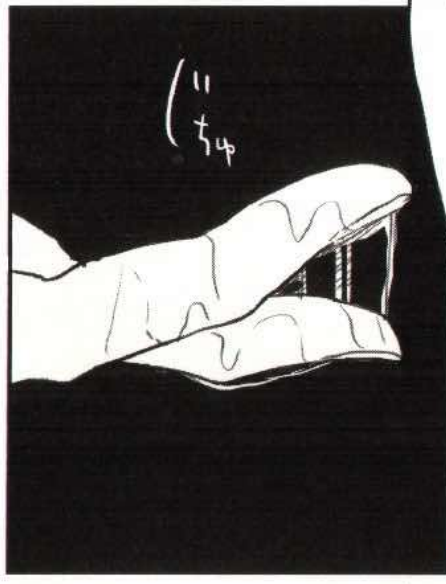
そこらへんの
ハンドクリーム
でいいか



とりあえず
動かすといいのか



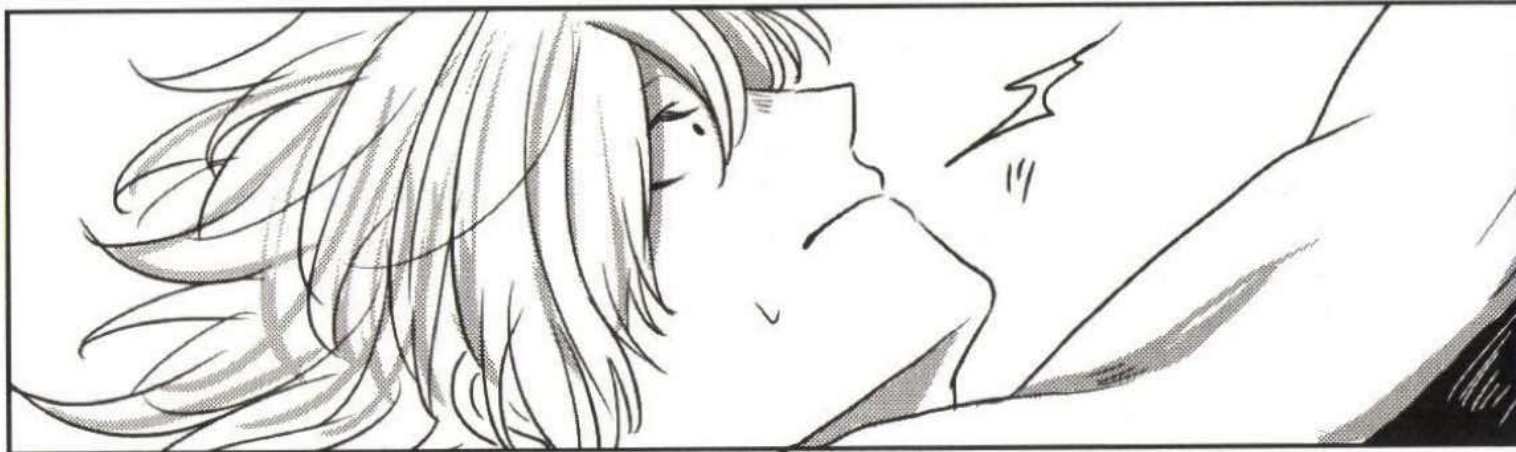
マスターに負担
かける訳にはいかねえ…

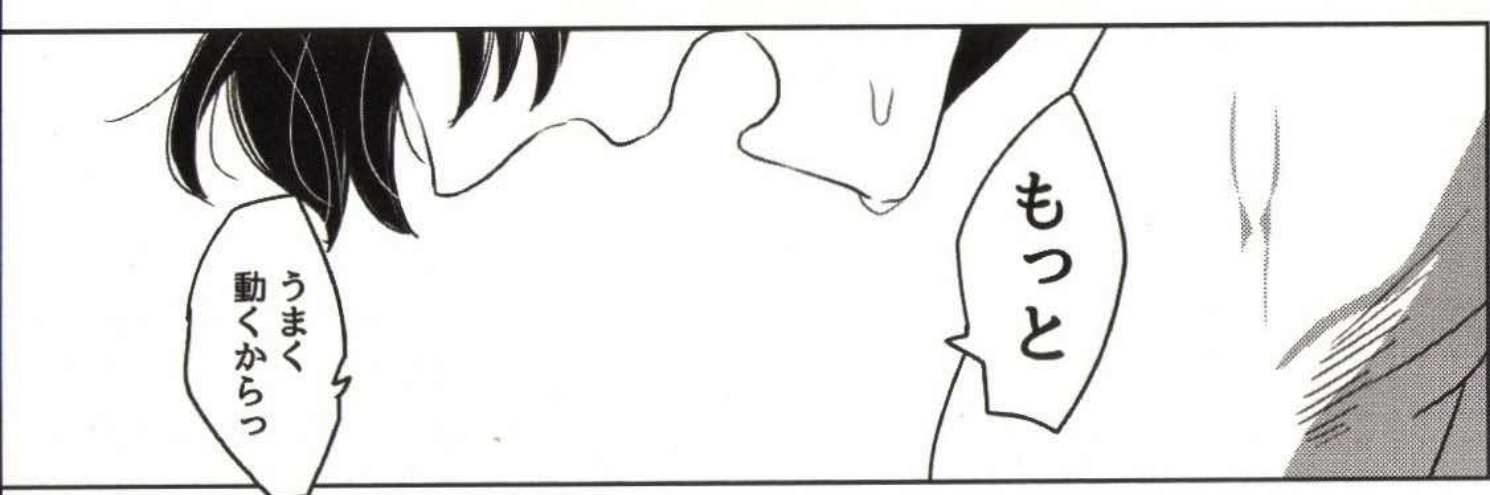


男の尻でマスターの
痛めたとか
面目たたねえ…

もっと
ならさねえと…











ほーら、どんと
ころころ



な、中にだし、
出している？





伝われ

伝われ

守りたいものに
君も入っているんだと

けど

分かっている、
分かっているんだ

それは無理だと、
決して交わらない線なんだと

いつか決断を迫られる、
俺が君を、消してしまう日が

犠牲のない戦いなんてない
死者のない戦いではない

無理がくる、限界がくる
其の時まで消えてしまうのは、
彼らなのだ

聞いているかい！

とりあえず今日は
何も無いから

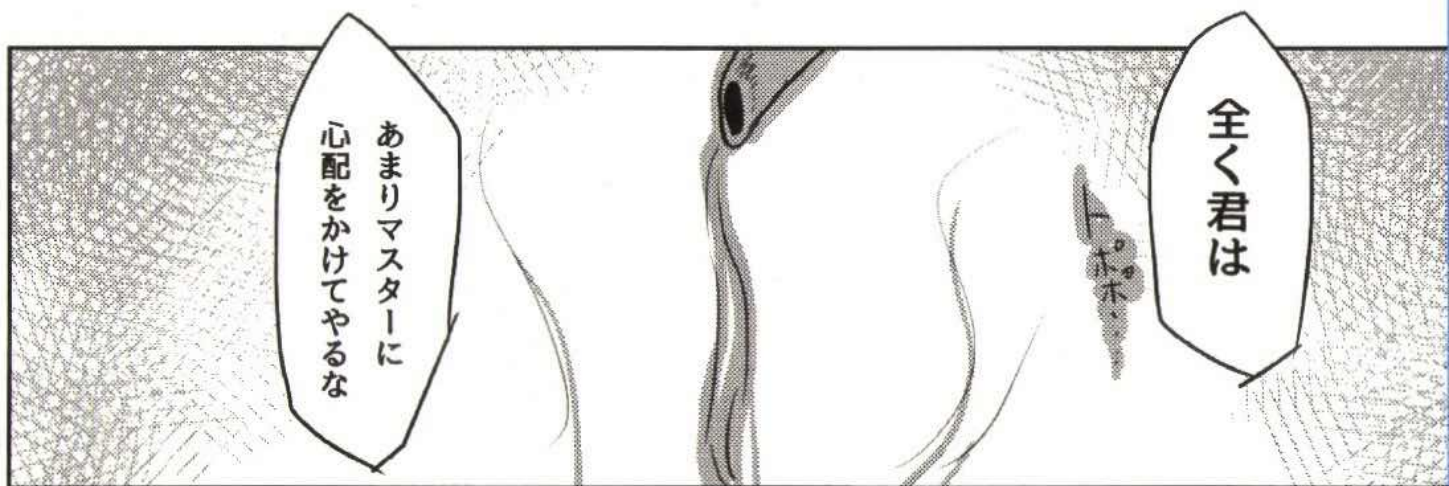
うつつみません…

「ホーッとした…」

もうミーティング
終わったよ

昨日の今日だからね

ごめん、まだ
疲れてたよね

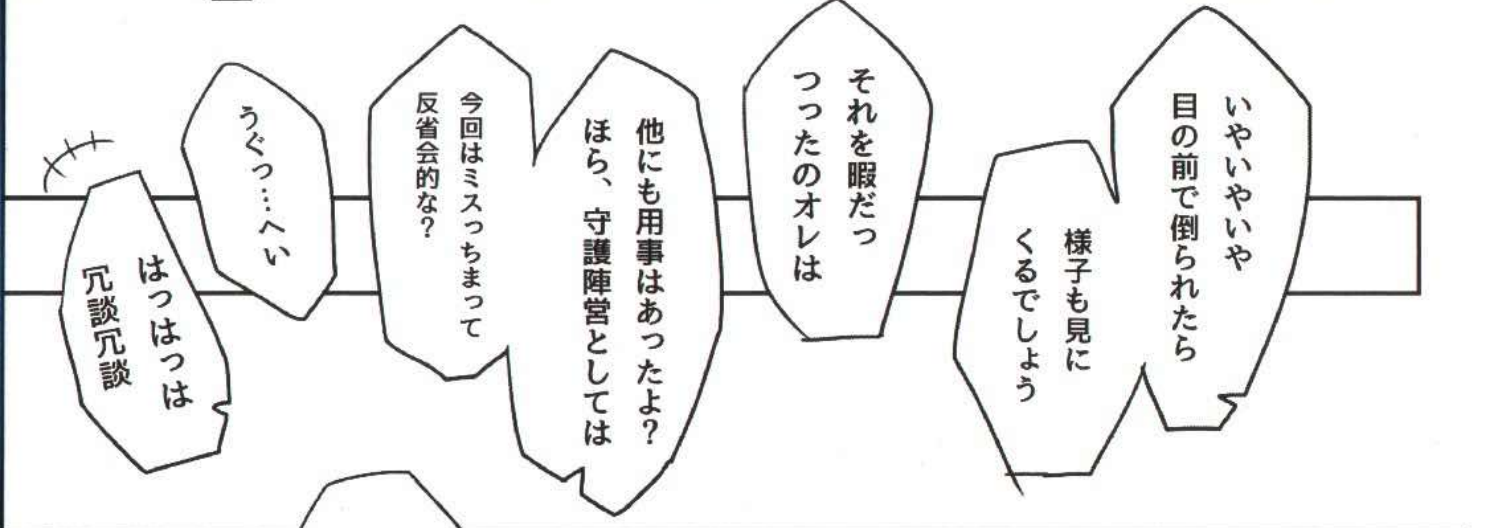




あら、心配して
きてみたらまあ

大丈夫そうね

全員暇かよ



いやいやいや
目の前で倒られたら

様子も見に
くるでしょう

それを暇だっ
つったのオレは

他にも用事はあったよ？
ほら、守護陣営としては

今回はミスっちまって
反省会的な？

うんっ…んい

はっはっは
冗談冗談



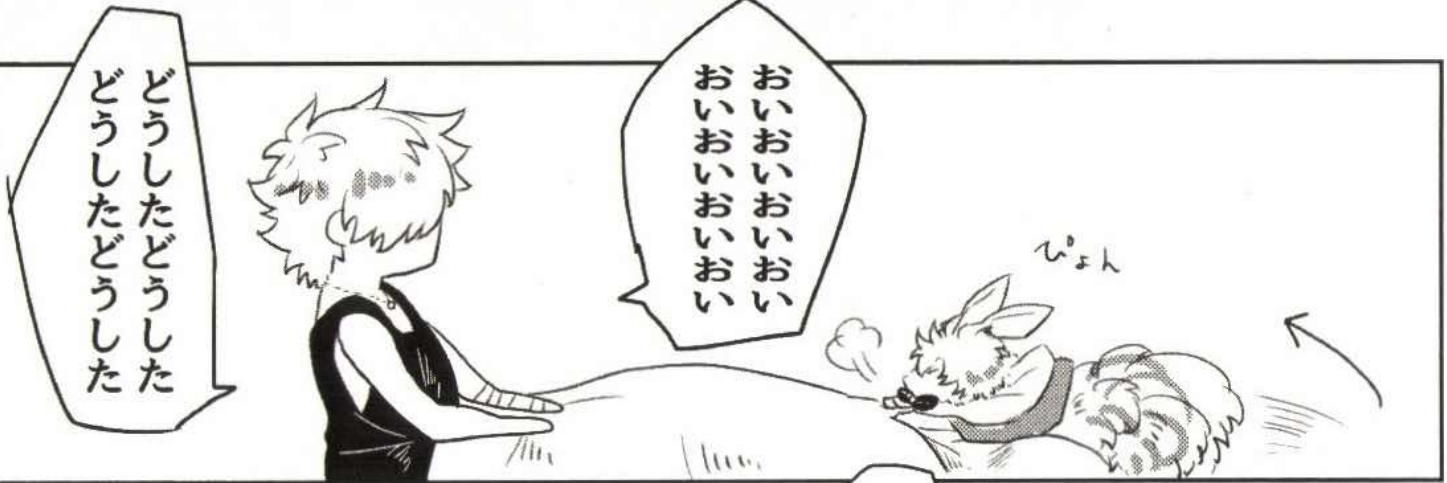
だが、まあ
守るってのは



そいつあ
そいつあ

大変なこと
なんだろうよ





どうしたどうした
どうしたどうした

おいおいおいおい
おいおいおいおい



オタク、覚えてる？
オレが召還されて
まだ間もないとき、
戦い終わって
カルデアに帰って
きたらさ

そういや、マスターに
どうして守るのか
なんて聞かれたな…



「助けてくれて

ありがとう」



それにマスターにとっては
当たり前のことだった
のかもしれないが、

助けて感謝なんて
された覚えはないね

オレは卑怯者
ですからね

おの昔もあつたマスター



ついでにもない！あの昔は決して



それだけ
その一言で良かった
なんて言ったら、さ



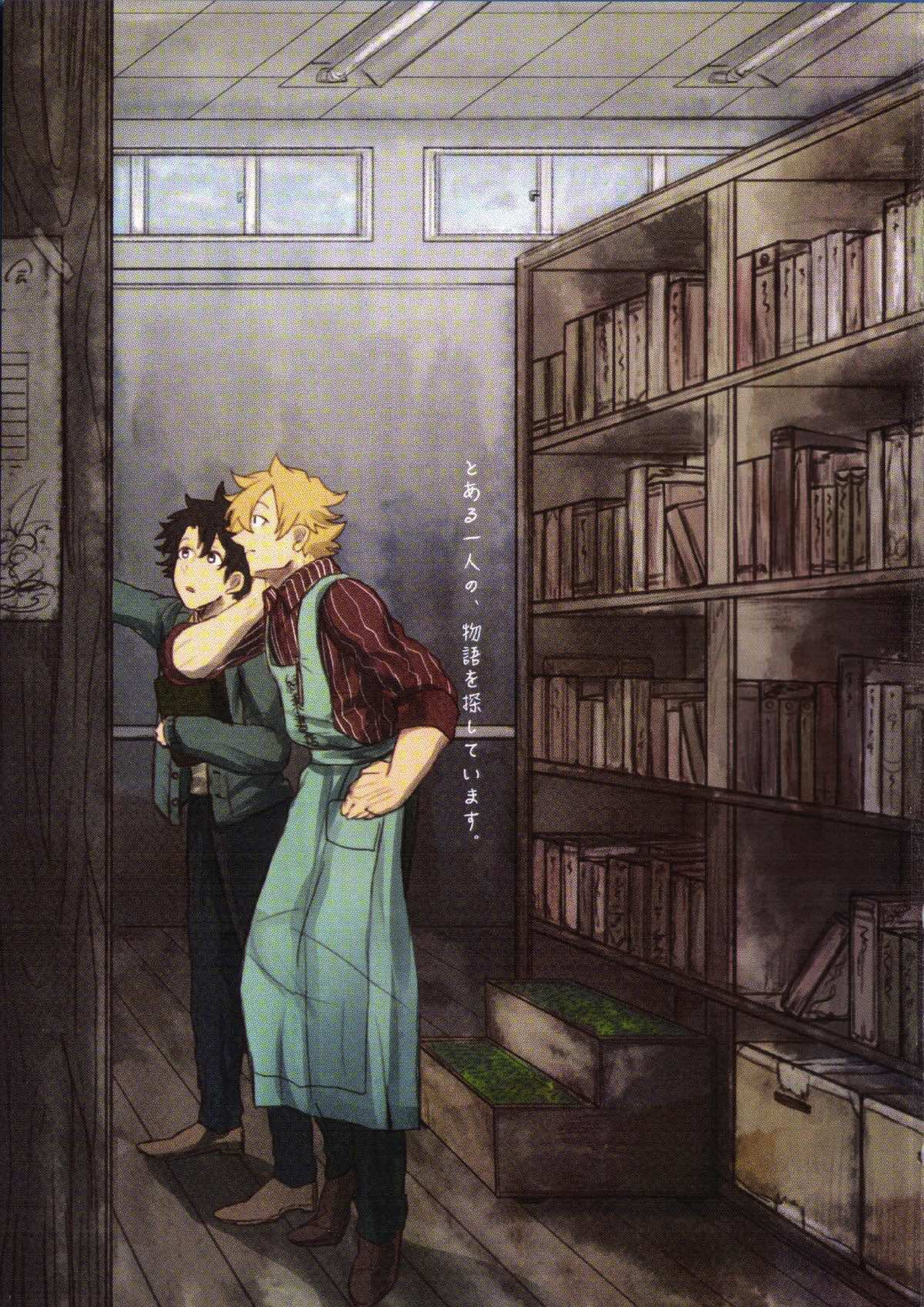
マスターに笑われ
ちまうでしょう？



また、誰かに見捨てられたとしても、
たとえば、マスターに見捨てられたとしても、

オレがマスターを
見捨てることは

きつと、ない



とある一人の、物語を探しています。

「伝われ 伝われ
けど、それは
きっと無理なんだ」